

サマープログラム 体験談

外国語学部英米学科 日野 君香

1. サマープログラムを申し込んだ動機について

大学では、主にアメリカ英語での授業だったので、イギリス英語に以前から興味があり、また、イギリス文化にも興味があったので、サマープログラムに参加しました。



2. 現地での語学コースについて

○参加したコース(レベル)

Culture, Action

○コースの内容(授業内容、良かった点、悪かった点、反省点、感想など)

1週目は、Culture の授業でイギリス文化について学びました。内容は、タイタニック、ロイヤルファミリー、スコットランドについて学び、さらにプレストンにある博物館に行きペアワークをしました。日本人が私を含め5人しかおらず、クラスメートがほとんど他国の留学生という環境での授業だったので、彼らからとても刺激を受け、英語力を高めることが出来たと思います。また、クラスメートの他国の留学生が優しく面白くて、毎日学校に行くのが楽しみでした。

2週目は、Action の授業でスポーツをしました。クリケット、テニス、ラウンダーズの3つをしました。クラスのほとんどが日本人だったことから、英語で授業を受けるものの、日本語で会話してしまい、英語力を高めることはあまり出来ませんでした。

3週目は、Culture の授業で、最近のイギリス文化について学びました。Music Festival やマンチェスターのパンフレット制作、英語でディスカッション等を行いました。クラスは全員日本人で、英語で話す機会はほとんどありませんでした。この週は、本学と大分大学の日本人学生しかおらず、英語を高める機会はほとんどなかったのですが、授業は楽しかったです。

○授業の一環の小旅行に対する感想

毎週水曜日に小旅行があり、湖水地方、リバプール、マンチェスターに行きました。湖水地方では、船に乗り湖の風景を見て回ることができ、楽しかったです。また、湖水地方はピーターラビットの生誕の場所ということで、ピーターラビットの本やお土産を買うことが出来ました。

リバプールには、The Beatles Story や、ショッピングモールや、大聖堂などがあり、1日中楽しむことが出来ました。





マンチェスターでは、図書館やフットボールミュージアム、ショッピングモール、Old Trafford Stadium に行きました。私はサッカーに詳しくないのですが、マンチェスターユナイテッドのスタジアムツアーは想像以上に楽しかったです。スタジアムの色々な所を見学できるので、サッカーに興味がない人でも楽しめると思います。

反省点としては、毎週水曜日、小旅行で行く場所の下調べをあまりせずにごろごりしていたので、そこに何があるのか、行きたい店や観光したい場所くらいは調べておくべきだったと思いました。

3. 宿舎について(良かった点、悪かった点、感想など)

お風呂の水の流れがとても悪く、排水口に水が溜まっていた。1度だけシャワーのお湯が出ない日があり、水でシャワーを浴びました。また、マットレスと椅子に髪の毛がたくさんついていて驚きました。部屋の窓がほとんど開けなかったのですが、これは窓の開閉する部分の鉄が錆びていたのが原因だと思います。キッチンにある食洗機の中に、初めから水が溜まって汚かったので、私達の部屋では食洗機をませんでした。



4. 現地での生活全般について

寮の近くにコンビニがあるので便利でした。また、寮から 10 分ほど歩いた所に安いスーパーもあって営業時間も長いので、食料品等の購入には困ることはありませんでした。日本に比べてイギリスの店は閉まるのが早いですが、比較的何でも売ってあるので、日本とあまり変わらず不自由なく生活できると思いました。

5. プログラムに参加して、学んだこと、自分が得たもの、参加前の自分とどう変わったか等

サマープログラムに参加できて、とても良かったです。私は今回初めて海外に行っただのですが、日本の良さや海外との違いを知ることが出来ました。さらに、イギリスについて様々なことを学校で学んだり、自分の足で本物を見に行ったりして体験できたので、自分自身を高めることが出来たと思います。

参加前は、自分で洗濯をしたりご飯を作ったりしたことがほとんど無かったのですが、イギリスでは自分で何でもしないとイケない環境になり、母への感謝の気持ちがより強ま

りました。また、一人暮らしのような生活を送ったことで、自立心を持つことができました。さらに、寮生活でキッチンとリビングが共有スペースだったので、他人への配慮や、協調性を身に付けることが出来たと思います。

学習面においては、イギリス英語とアメリカ英語で異なる英単語やスペルをより詳しく学ぶことができ、勉強になりました。また、日本人と他国の学生との授業を受ける姿勢が違っていたことに驚き、刺激を受けました。日本人は内気で恥かしがる傾向があり、授業中も静かに先生の話聞いていますが、他国の学生は、先生に積極的に質問したり、自分が知っている知識を話したりして、先生と一緒に授業を作っていたことに凄いなと思いました。このような所を自分も見習わないといけないと感じ、普段の大学での授業態度を考え直させられました。



6. プログラム全体に対する感想、反省

3週間はあっという間で、あと1週間くらい滞在したいと思いました。参加前はテロが起これないが不安もありましたが、プレストンは特に治安が良く、スリにも遭わずに生活でき、本当に過ごしやすかったです。ただ、小旅行で一度だけ財布を忘れて来てしまい、友人にお金を借りて迷惑をかけてしまったので、自分の不甲斐なさを反省しました。

学校の授業では、毎週クラスが変わるので、本学のサマープログラム参加者とも仲良くなることができ、他大学の学生や、他国の学生とも話すことが出来て良かったです。

サマープログラムの最終週にクラスに日本人しかいなかったことは仕方がないことでしたが、せっかくイギリスに来ているのに全員日本人という環境が、普段の大学の授業と変わりがなく、やはり残念に思いました。



7. イギリスに持って行った方がいい物、もしくは持って行く必要がなかった物について

イギリスは思っていた以上に寒かったので、トレーナーやパーカー等の厚手の洋服を持って行った方が良いと思います。また、肌や髪の毛が乾燥してしまったので、ボディークリームやトリートメントを持って行くことをお勧めします。

私はスポーツ用の靴を持って行きましたが、普段履いている靴で十分にスポーツが出来たので必要なかったと思いました。スポーツ用の靴は2回しか履きませんでした。

8. 休暇のプランの立て方や行った場所など詳しく教えてください。

休暇のプランは必ず立てて、観光や買い物に行った方が良いと思います。私は、友人と金曜日の夜に計画を立てていました。行きたい店や場所をグーグルマップで調べて、最寄り駅や滞在時間などの簡単なスケジュールを作っておくと、効率的に観光や買い物が出来ると思います。また、友人が持って来ていた「るるぶ イギリス」というガイドブックにイギリスの観光地や店、バスや電車、地下鉄の地図などが載っており、それらを参考にして旅行プランを立てていました。

8月12日(土)はロンドンで大英博物館、バッキンガム宮殿、ビッグベン、London Bridge、Tower Bridge、8月13日(日)はスコットランドのエディンバラ、8月19日(土)はロンドンのケンジントン地区、8月20日(日)はロンドンのオックスフォードストリート、8月24日(木)はヨークに行きました。



休暇に行った所で私の一番お勧めしたい場所が、ロンドンのケンジントン地区にある Notting Hill の Portobello Market です。店がたくさん出ており、食べ物や洋服、雑貨など沢山あるので1日中楽しむことができます。

ロンドンやエディンバラに行くなら、早朝に出発し、19時から20時頃まで遊んでくるのが良いと思います。毎週月曜日は13時から授業だったので、朝がゆっくり出来ます。

9. イギリスに持参した現金の金額とクレジットカードで使った金額はどれくらい？

現金を日本円で3万円ほど持っていきました。現金はほとんど使い切り、20ポンドほど残りました。カードは、約9万円使いました。カードは洋服やカバン、お土産などを買うときに使っていました。

イギリスは硬貨の種類が多く、買い物をする時に最初は苦労しました。硬貨の種類を覚えたくない人には、カードがお勧めです。

また、クレジットカードの利用限度額が10万円位の場合は、



カードを2枚持っていきべきだと思いました。意外に色々買ってしまふので、10万円の上
限に近づいてくると満足に買い物を出来なくなってしまう可能性が出てきます。私は、上
限が20万円と余裕があったので、使えるお金の心配をせずに楽しんで買い物をするこ
とが出来ました。